

栃木市監査委員告示第22号

地方自治法第199条第7項の規定による、財政援助団体等監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとおり公表いたします。

平成28年11月29日

栃木市監査委員 藤 沼 康 雄

栃木市監査委員 天 谷 浩 明

記

1. 監査の実施日 平成28年10月5日
2. 監査の対象 財政援助団体（抽出）
栃木市藤岡町観光協会
3. 監査の方法
あらかじめ提出を求めた関係する帳簿類、証ひょう書類等について、内容調査、照合、検算等を行うとともに、関係職員等に対する質問等により実施した。
4. 監査の結果
補助の目的に適合した事務事業が執行され、良好なものと認められた。
以下、これを内容別にあげれば次のとおりである。

(1) 事業の状況及び効果について

栃木市藤岡町観光協会は、藤岡地域の観光事業の健全なる発展と魅力あるふるさとづくりを進め、地域住民の福祉向上と地域産業の振興及び郷土文化の発展に資することを目的として、平成2年4月に藤岡町観光協会として発足した団体である。その後、平成22年3月に栃木市、大平町、藤岡町、都賀町の合併に伴い、栃木市藤岡町観光協会に名称を変更した。

平成27年度においては、主催事業として、藤岡渡良瀬運動公園における「第21回藤岡さくら祭り」、また、後援事業として「藤岡さくら祭り」と同時に開催される「渡良瀬ブルーレース2015」や、谷中湖における「渡良瀬遊水地フェスティバル2015」等、渡良瀬遊水地に関連する観光事業を中心に誘客宣伝を推進した。また、群馬県、埼玉県、栃木県との3県境であるという特性を活かし、2市1町との連携によるPR活動にも努め、栃木市の活性化に重要な役目を果たした。

(2) 会計経理について

平成27年度における市からの補助金(591,000円)は、観光事業の振興及び自然環境保護の振興を目的に交付されたもので、確実に受け入れられている。支出については、目的に沿って執行されている。諸帳簿並びに書類については符合しており、おおむね適正に処理されていたが、謝礼金の領収明細について氏名記載のみとなっているものが見受けられたので、所属や住所等を明らかにするよう口頭で指導した。

〈平成27年度決算状況〉

収入	1,928,650円
支出	1,407,240円
差引残額	521,410円

(3) 要望事項について

所管課においては、補助事業が適正かつ効率的に執行され、その目的に沿って十分な効果を発揮しているかどうかを検証することが必要であり、補助金の使途については、補助事業と補助金の結びつきと適正な執行確認を実施するよう要望する。

当団体においては、後援事業や共催事業を含め、渡良瀬遊水地に関連した観光事業を中心に事業を展開し、地域活性化に大いに貢献している点において高く評価される。今後は、群馬県、埼玉県、栃木県との3県境にあり、都心に近いという地域の特性を活かし、渡良瀬遊水地の魅力や保全の重要性について、さらに広く情報発信できるような事業展開が推進されることを期待したい。

補助金の執行においては、目的に沿った適正な執行に努めるとともに、
今後は自主財源の確保につながるような事業展開を期待したい。

また、平成30年度に予定される観光協会の一歩化に向けて、渡良瀬
遊水地の地域の特性を活かしながら、栃木市としてどのような方向で何
を成すべきか、これまでの実績を基に他地域と連携、協力して、栃木市
の新しい観光協会の構築、発展に寄与していただきたい。